

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2000-513932(P2000-513932A)

【公表日】平成12年10月24日(2000.10.24)

【出願番号】特願平10-503376

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 51/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02

C 1 2 P 21/08

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 P 21/08

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 43/00

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月21日(2004.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年6月21日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第503376号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ニューヨーク 10591-6707,

タリータウン, オールド ソウ ミル リバー ロード 777

名称 リジェネロン ファーマシューティカルズ, インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号

クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

方
審
査

請求の範囲

1. ヒトTIEリガンド-4をコードするヌクレオチド配列を含む、単離され、そして精製された核酸分子であって、該ヌクレオチド配列は：

(a) 図8A～8Cに示されるような、ヒトTIEリガンド-4のコード領域を含むヌクレオチド配列またはATCC 98095として受託されたhTL-4と称されるベクターに含まれるヌクレオチド配列；

(b) 図8A～8Cに示されるような、ヒトTIEリガンド-4のフィブリノーゲン様ドメインのコード領域を含むヌクレオチド配列またはATCC 98095として受託されたhTL-4と称されるベクターに含まれるヌクレオチド配列；および

(c) 遺伝コードの縮重の結果として、(a)または(b)のヌクレオチド配列とは異なり、そしてTIE-2レセプターに結合するTIE-2リガンドをコードする、ヌクレオチド配列、
からなる群より選択される、核酸分子。

2. 請求項1に記載の核酸分子を含有する、ベクター。

3. 前記ヌクレオチド分子が、宿主細胞においてその発現を指向し得る発現コントロール配列に作動可能に連結されている、請求項2に記載のベクター。

4. 前記ベクターがプラスミドである、請求項3に記載のベクター。

5. フィブリノーゲン様ドメインのアミノ酸配列を含む、図8A～8Cに示されるようなアミノ酸配列またはそのフラグメントもしくは誘導体を有する、単離されたTIEリガンド-4。

6. 請求項1に記載の核酸分子によってコードされる、単離されたTIEリガンド-4。

7. 請求項2、3または4に記載のベクターを含む、形質転換された宿主細胞。

8. 前記宿主細胞が、細菌、酵母、昆虫または哺乳動物の細胞である、請求項7に記載の宿主細胞。

9. TIEレセプターをコードする核酸をさらに含有する、請求項7または8に記載の宿主細胞。

10. TIEリガンド-4を産生する方法であって、請求項7に記載の細胞を、該TIEリガンド-4の産生を許容する条件下で増殖させる工程、およびそのようにして産生された該TIEリガンド-4を回収する工程、
を包含する、方法。

11. 請求項5または6に記載のリガンドに特異的に結合する、抗体。

12. モノクローナル抗体である、請求項11に記載の抗体。

13. 細胞傷害性因子に結合した、請求項5または6に記載のリガンドを含有する、結合体。

14. 前記細胞傷害性因子が、ラジオアイソトープまたは毒素である、請求項13に記載の結合体。

15. 請求項5または6に記載のリガンドおよび薬学的に受容可能なキャリアを含有する、新生血管形成または造血の誘導において使用するための薬学組成物。

16. 請求項11または12に記載の抗体、および薬学的に受容可能なキャリアを含有する、新生血管形成または造血の誘導において使用するための薬学組成物。